



# かれん新聞

## 牧島かれんを育てる会 会報

# 第2号

発行所  
牧島かれんを育てる会  
〒250-0862  
小田原市成田178-1  
0465-38-3388

### ～守る～ 地域農業について考える

事務所近くの田んぼには、たわわに実った稲穂が頭(こうべ)を垂れています。実りの秋、収穫の秋。秋は、私たちの食欲をそそる素晴らしい季節です。とはいえ農業に携わる方々は現在、収穫等で多忙な日々を過ごされているかと存じます。最近の「食」に関するニュースは、残念ながら消費者に不安や不信を抱かせるものばかりです。また、それに呼応するかのようには、消費者の「食」に対する意識も少しずつ変化しているように思います。

その一つの例として「地産地消」があります。「地産地消」とは地域で収穫した農産物をその地域で消費することをいい、地域の活性化につながる商業形態として現在、注目を集めています。農家の方々が販売に携わる「地商」と、消費者が安心して新鮮な農産物を手に入れる「地消」は、自分たちの目の届かないところで起こる食の問題を不安に思う消費者と、農家の方々の利益が一致したところによるのかもしれない。

世界に目を向ければ穀物の高騰で逼迫している国もあります。豊食の国といわれる日本ではありませんが、食糧自給率は低く、食糧不足とは無縁と静観してばかりはいられない状況です。

神奈川県で育まれる農産物、農地を守ることは、日本の「食」を守るということです。積極的に取組まなければならぬ課題の一つだと考えます。



### 政策提言

### 守る・創る・共に生きる

- 《地域社会の活性化》
  - ・ 3世代同居、近居税減税(3世代で同居または近居する家族への減税策)
  - ・ 地域医療の充実
  - ・ NPO税制(NPO活動の活性化に役立つ税制の導入)
- 《後継者の育成》
  - ・ 漁業従事者、林業従事者の育成
  - ・ 教育予算の拡充
  - ・ 高技術企業、技術者への優遇税制の導入
- 《日本の未来の再定義》
  - ・ 地産地消
  - ・ 週末農業
  - ・ レンタル農地
  - ・ 観光産業の促進

<http://www.makishimakaren.com>

今さら聞けないけれど...

### 小選挙区とは？

衆議院議員選挙における、全国を分けした300の地区のこと。1地区から1人、つまり全国から300人の国会議員が選挙により誕生することになります。神奈川県には18の選挙区があり、この数は全国で東京都、大阪府に続いて3番目に多い選挙区です。この地域は第17区(小田原市、秦野市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)となります。